

みずほCustomer Desk Report 2017/01/05 号(As of 2017/01/04)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	117.96 AUD/USD
TKY 9:00AM	117.64	1.0418	122.55	1.0267	1.2243	0.7230
SYD-NY High	118.19	1.0500	123.12	1.0291	1.2354	0.7288
SYD-NY Low	117.05	1.0390	122.50	1.0202	1.2220	0.7214
NY 5:00 PM	117.25	1.0489	123.01	1.0212	1.2322	0.7285
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	12.405/12.955	△25RR	0.838	Yen Call Over		

NY DOW	19,942.16	60.40	債券市場	日本2年債	-0.1900	▲1.0bp
NASDAQ	5,477.01	47.92		日本10年債	0.0650	1.9bp
S&P	2,270.75	12.92		米国2年債	1.2140	▲0.0bp
日経平均	19,594.16	479.79		米国5年債	1.9306	▲1.2bp
TOPIX	1,554.48	35.87		米国10年債	2.4390	▲0.5bp
シカゴ日経先物	19,685	305.00		独10年債	0.2760	1.2bp
ロンドンFT	7,189.74	11.85	為替市況	英10年債	1.3350	0.5bp
DAX	11,584.31	0.07		豪10年債	2.7920	4.4bp
ハンセン指数	22,134.47	▲15.93		USD/CNH	6.8660	▲0.0930
上海総合	3,158.79	22.87	商品市況	ドルインデックス	102.53	▲0.68
USDJPY 3M Vol	12.43	▲0.47%		CRB指数	192.977	2.83
USDJPY 6M Vol	12.37	▲0.38%		NY金	1,165.30	3.30
EURJPY 3M Vol	11.79	▲0.26%		WTI	53.26	0.93
EURJPY 6M Vol	13.37	▲0.26%		Dubai Spot	53.58	▲1.67

東京	東京時間のドル円は117.64レベルでオープン。連休中に発表された中国12月財新製造業PMIや米12月ISM製造業景況指数が良好な結果となったこと等を受けて日経平均株価が大きく上昇する展開となると、ドル円も連れ高となり一時118.19まで上昇。その後、日経平均株価の堅調推移は続いたが、ドル円は前日高値118円台半ばで伸び悩んだことが意識されてか一段と上値を追う展開とはならず、118.00を挟んでのみみ合いが続いた後、結局118.03レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は118.03レベルでオープン。原油価格が下落した等を背景に欧州株が伸び悩む中、FOMC議事録(12月13-14日開催分)公表を前に利益確定売りが入り、117.36まで下落。117.52レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2247レベルでオープン。英12月建設業PMIが54.2(市場予想:52.5)と、9ヵ月ぶりの高水準となったことが好感され1.2291まで上昇した後、1.2280レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0412レベルでオープン。ユーロ圏12月総合PMI改定値が54.4(速報値:53.9)と、2011年以降で最も強い伸びを示し、ユーロ圏12月CPI速報値も前年比+1.1%と、(市場予想:1.0%)を上回ると、1.0445まで上昇。1.0434レベルでNYに渡った。(ロンドン・ルヴリー 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	ドル円は海外市場で118.19まで上昇するが、FOMC議事要旨発表を控えボジション調整のドル売りが強まり、117.52レベルでNYオープン。先月のFOMCで2017年度利上げ見通しの上方修正があったことから、FOMC議事要旨の内容に注目が集まる中、先月のイエレン議長の発言ほど議事要旨の内容は力添えでないとの予想から利益確定のドル売りが強まり、ドル円は117.20付近のストップを巻き込み安値の117.05まで下落。しかし、この水準ではドル買い意欲も強く、米株も堅調に推移したことから、その後は117円台前半での推移が続いた。FOMC議事要旨では大多数が「今後数年の財政政策が拡大方向に向かうと見込まれることから、経済成長予測に対する上振れリスクが高まった」との見解があったが、予想したほど力添えでもないとの見方から利益確定の売りが強まりドル円は117.11まで下落。しかし、概ね先月会合でのイエレン議長の発言と一致したこともあり、ドルが買い戻され117.74まで反発。その後はFOMC議事要旨公表前の水準まで戻し、117.25レベルでクロスした。一方ユーロドルはドル売り優勢の展開からじり高の推移となり1.0434レベルでNYオープン。FOMC議事要旨の公表を控えボジション調整のドル売りに高値1.0500まで上昇。しかし1.05台ではユーロ売り意欲も強く、議事要旨発表後にドルが買い戻されるとユーロドルは1.0457まで下落し、1.0489レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:伊藤・森谷

【昨日の指標等】

Date	Time		Event		結果	予想
1月4日	19:00	欧	CPI予想/CPIコア(前年比)	12月	1.1%/0.9%	1.0%/0.8%
	21:00	米	MBA住宅ローン申請指数	-	0.1%	-
1月5日	4:00	米	FOMC議事要旨	12月分	-	-

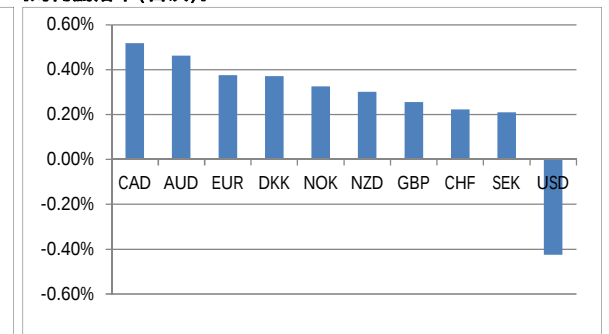
【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
1月5日	10:45	中	Caixinサービス業/総合PMI	12月	-/-	53.1/52.9
	19:00	欧	PPI(前月比/前年比)	11月	0.3%/-0.1%	0.8%/-0.4%
	22:15	米	ADP雇用統計	12月	175K	216K
	22:30	米	新規失業保険申請件数	-	260K	265K
1月6日	0:00	米	ISM非製造業景況指数	12月	56.8	57.2

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	116.20-117.70	1.0450-1.0600	122.00-124.00

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場ドル円相場は上値の重い展開。前週末の強い米ISM製造業景況指数や大発会で日経平均が大幅上昇したことを背景にアジア時間に118.19まで上昇したドル円相場は海外時間に入ると、米金利の低下に伴い次第に上値が重くなる展開。この日発表されたユーロ圏の12月CPIが市場予想を上回ったことでユーロでのドル売りもドル円に波及し、一時117.05まで下落。米国時間に入り発表された12月のFOMC議事録での、「多くのメンバーがより速いペースでの利上げ必要となる可能性がある」と判断」との文言に反応し、117.74まで一時値を戻す場面もみられたが、上値追いつも限定的で、その後は再び上値が重くなる展開。本日のドル円相場は、トランプ次期大統領への期待感により醸成されていた金利上昇、ドル高トレンドに一服感が見られる中、ドル円相場も上値の重い展開になるものと予想。